

平成23年行政事業レビューシート (総務省)

<b>事業名</b>	児童ポルノサイトのブロッキングに関する実証実験		<b>担当部局庁</b>	総合通信基盤局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度～平成25年度		<b>担当課室</b>	消費者行政課		課長 玉田 康人		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	V-4 情報通信技術利用環境の整備				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	総務省設置法第4条		<b>関係する計画、通知等</b>	児童ポルノ排除総合対策				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	インターネット上の児童ポルノ画像の流通・閲覧防止策であるブロッキングは、表現の自由等を確保する観点から、精度の高い方式を安定的に運用する必要があるため、実証実験を通じて、有効かつ普及可能なブロッキング方式の開発・実証を行い、その導入を支援する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	ブロッキングは、憲法上の重要な権利である通信の秘密や表現の自由に不当な影響を及ぼさない運用に配慮することが重要であるが、児童ポルノ以外の適法なサイト等をブロッキングしてしまうオーバーブロッキングや、ブロッキングにより世界的なネットワークに意図しない障害を発生させるおそれがある等の技術的課題がある。上記の課題を解決し、広くブロッキングを普及させるため、ISPの規模に見合った精度の高いブロッキング方式の開発を行い、その導入に向けた支援・環境整備という政府の役割を果たすために、有効なブロッキング方式の開発を行い、実際の利用環境を想定した実証実験を実施し、23年度内を目途にISPがブロッキングを円滑に導入できるようガイドラインの策定を目指す。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	0		
		繰越し等	-	-	-	0		
		計	-	-	-	472	472	
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-	
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	本事業は、ISPの規模に見合った精度の高いブロッキング方式の開発を行うものであり、定量的な成果目標を示すことは困難。		成果実績					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	実際の利用環境を想定し、ISPの規模に見合った精度の高いブロッキング方式の開発を行い、実証実験を実施する。その際、2社以上の国内ISPが参加し、加入者数の合計が、国内ブロードバンドインターネット加入者の10分の1以上となることとする。		活動実績 (当初見込み)	万人			( )	(約345万人)
<b>単位当たりコスト</b>			算出根拠					
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	電気通信技術研究開発調査費	472	472					
	計	472	472					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>インターネット上の児童ポルノ画像の流通・閲覧防止策であるブロッキングについては、犯罪対策閣僚会議において、政府が、事業者によるブロッキングの自主的導入に向けた環境整備を積極的に行うことが決定している。ブロッキングは、表現の自由等を確保する観点から、精度の高い方式を安定的に運用する必要があるため、実証実験を通じて、有効かつ普及可能なブロッキング方式の開発・実証を行い、事業者による、プロバイダがブロッキングを円滑に導入するためのガイドラインの策定を成果目標とする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>事業所管部局による点検が十分行われている。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>平成23年度の実証実験の契約実績等を踏まえ、予算内で効率化が図られるよう内容を精査し、積算している。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					